

# 院長ご挨拶



地方独立行政法人 奈良県立病院機構  
奈良県西和医療センター院長  
土肥直文

五月晴れの季節のはずがコロナの蔓延のせいで、皆さまにもストレスの溜まる日々になっているのではと推察いたします。西和医療センターでは、昨年2月からコロナの外来診療（帰国者・接触者外来）を開始、5月から感染された患者さんの入院治療にも取り組んで来ました。昨年5月に病院裏の第2駐車場に建設しました「発熱外来クリニック」でのコロナ外来診療は、行き場を失った発熱患者さんのために大きな貢献をしましたが、発熱患者さんがクリニックで診察を受けやすくなった現在でも一定の役割を担っており、今年に入っても受診者数は増加傾向を示しています。このような発熱外来から、軽症・中等症および人工呼吸管理を要する重症の患者さんの入院治療まで、コロナに関する診療のすべてにわたり、職員一丸となって戦ってきました。それでも第4波の拡大はこれまでになく大きなものとなり、コロナ以外の診療における手術の延期など、患者の皆さまにはご迷惑をおかけする事態になっています。今後、各自治体が住民の皆さまへのワクチン接種をスムーズに進めることにより、感染拡大が止まることを切に祈りながら、日々のコロナ診療を続けております。

さて、今年度のビッグニュースは、大阪府の星ヶ丘医療センターで指導的な立場であった中村孝人先生を副院長で迎えることができたことです。総合内科専門医、感染症内科専門医・指導医、臨床腫瘍学会専門医・指導医、呼吸器内科専門医・指導医、呼吸器内視鏡学会専門医等、幅広い知識と経験を有する希有な内科の指導医です。彼が私たちのチームに加わることで、病院全体としての実力が一段階向上すると感じています。また、空席になっていました小児科の部長に、奈良県立医科大学附属病院小児科の、特に小児循環器領域で活躍されていた吉澤弘行先生を迎えることができたことも、未来につながる心強いニュースです。西和地域は、子育て世代が多く移住して来られることを目指す街です。いまは、交通の便利さなどを理由に「日本一住みやすい街」と言われていますが、子育て世代が住みやすい街にするためには、安心して子育てができる医療提供体制が何より大切です。これからの地域の発展のためにも、小児医療体制の拡充に努めて参ります。

ファミリー5月号の特集は、脳腫瘍と好酸球性胃腸疾患です。当センターの脳神経外科手術の技術力は各方面から高く評価されており、センターの看板になっています。また、消化器内視鏡を専門とする医師の技術も高く、消化器がん診療にとって、なくてはならない存在となっています。その2つの診療科を代表する医師が「病気の話」を書いてくれました。巻末にはコロナのワクチンの記事もございます。是非自宅に持ち帰ってゆっくり読んでください。

次号が発刊される8月には、コロナの感染拡大がある程度まで落ち着いていることを祈りながら（それでも最悪のシナリオも頭に入れて）診療を続けます。これからも西和医療センターが地域の住民の皆さまの命と健康を守るための役割を果たせるよう職員一同努力して参ります。住民の皆さまにおかれましても、くれぐれもコロナに感染しないように十分注意してお過ごしく下さい。

令和3年5月

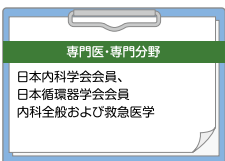
# 新任医師紹介

令和3年1月12日付

循環器内科専攻医



もりた ひろなり  
森田 亮

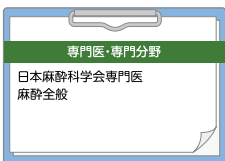


令和3年2月1日付

麻酔科医長



つばき こうご  
椿 康輔

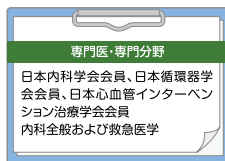


令和3年2月15日付

循環器内科専攻医



ふじわら りょう  
藤原 遼

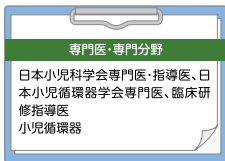


令和3年4月1日付

小児科部長



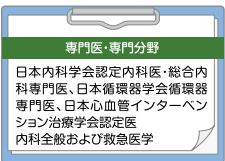
よしざわ ひろき  
吉澤 弘行



循環器内科医長



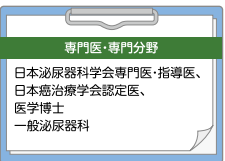
かもん だいしゅ  
鴨門 大輔



泌尿器科医長



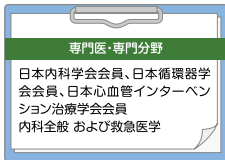
いいだ こうた  
飯田 孝太



循環器内科医員



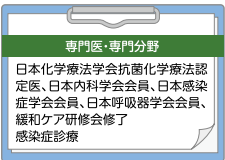
くぼ ひろき  
久保 裕紀



感染症内科医員



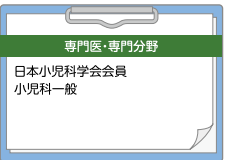
さかい ゆうき  
酒井 勇紀



小児科医員



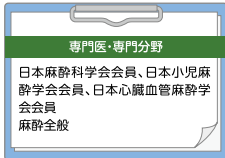
いけだ えり  
池田 衣里



麻酔科医員



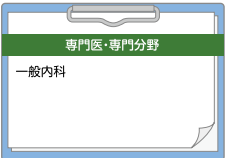
まつもと まりこ  
松本 真理子



腎臓内科専攻医



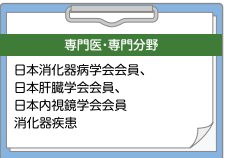
ことのだ ひでまさ  
後藤田 英正



消化器内科専攻医



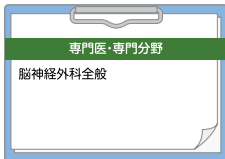
こじま あやの  
小髙 彩乃



脳神経外科専攻医



なかがわ りゅうたろう  
中川 龍太郎



## 臨床研修医

臨床研修医



いちい だいき  
市居 大季

臨床研修医



かわしま りゅうたろう  
川島 遼太郎

臨床研修医



かわむら けんや  
河村 健矢

臨床研修医



たかはし こうた  
高橋 広太

臨床研修医



たなせ まは  
棚瀬 万葉

臨床研修医



つじ あやと  
辻 紇斗

臨床研修医



つじもと にしほ  
辻本 虹歩

臨床研修医



なかにし しょうこ  
中西 祥子

臨床研修医



にしざき ともや  
西崎 友哉

臨床研修医



さいどう しょういちろう  
齋藤 正一郎

臨床研修医



ふしなか かな  
藤中 加奈

## 新副院長からのご挨拶



地方独立行政法人 奈良県立病院機構  
奈良県西和医療センター  
副院長 中村 孝人

皆様初めまして、なかむら たかひと中村孝人と申します。地域医療の中核病院である西和医療センターに赴任し、かつ副院長という重責に身が引き締まる思いです。

私は平成10年奈良県立医科大学を卒業しました。同大学附属病院での初期研修後は済生会中和病院、済生会吹田病院で研鑽しました。その後、前任地である星ヶ丘医療センターに異動し、16年間、総合内科、腫瘍、市中感染症、呼吸器、心肺リハビリテーションなどの診療をしてきました。どの領域も目まぐるしく変化しているため、院内・院外専門科の諸先生方にご相談・ご指導頂きながら取り組んできました。教育に関しては、スタッフ、後期研修医、前期研修医と共に、診療内容を共有し、共に定期的に学習を重ねてきました。また外来・病棟業務から生まれる様々な臨床的疑問に対して、チーム医療の実践を意識して取り組んで参りました。これまで様々な方々に支えられ何とか乗り越えることが出来たものと省察しております。

西和医療センターでは、副院長兼総合内科、感染症内科、腫瘍内科 3科部長を併任します。**総合内科、感染症内科として、まずは地域の医療機関からの予約の患者さんの診療や、初診外来を担当する医師の相談役として貢献したいと思います。**また腫瘍内科として、既知診断症例におけるがん治療に関する疑問や有害事象の院内相談役として貢献できればと考えております。また新型コロナ感染症において、第一波から構築されてきた西和医療センターの診療システムの良い点を、前任地では参考にさせて頂いておりましたが、更により良くなるよう貢献できればと存じます。**3科部長と言っても、スタッフは私を除き1名ですので、**十分な対応ができません、ご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。